

ベトナム財政省と日本企業の対話（梅田大使挨拶）

2019年10月4日（金） 14：00－14：20

● ヴー・ティエー・マイ 財政省副大臣，
財政省，租税総局，税関総局の皆様，
三浦 日本商工会議所会頭はじめ，参加されている日本企業
の皆様，

● まず初めに，本日の対話開催に関し，日本政府を代表して，
財政省と日本企業の皆様に感謝を申し上げます。

● 本対話は，フック首相の訪日（G20 大阪首脳会議）前の6
月中旬，私がズン財政大臣と面会した際に，大臣より提案が
ありました。越財政省と日本企業の会合開催は，今回が初め
てであり，実りある対話になることを心より期待致します。

● この機会に，2点申し上げます。

一点目は，日越関係の「基本認識」についてです。

現在，ベトナムは，飛躍的に発展する「歴史的な好機」を迎
えています。ベトナムは発展のエネルギーに満ち満ちており，
ベトナム各地の街並みは日々変化し，国民生活も大きく改善

しています。

●日本とベトナムは、海洋における航行の自由、CPTPPなど多くの「戦略的利益」を共有しており、「自然の同盟関係」にあるという人もいます。

●また、日本は、ベトナムがより経済的に繁栄し、強い国になることが、東アジア地域全体の「安定と繁栄」にとって、重要と認識しています。

●このような認識に立って、日本は、政治・安全保障、経済等あらゆる分野でベトナムとの連携強化に努めています。ベトナムが現在の「歴史的な好機」を確実に活かして持続的成長を達成し、大きく飛躍できるよう出来るだけ、連携を強化したい考えです。

●2点目は、ベトナムの改革努力と日本の協力に関してです。

ベトナム共産党及び政府は、「汚職撲滅」、「行政機構の手続きのスリム化」、「公的債務残高を減らすこと」など様々な改革に取り組んでおられます。

●これらの改革努力は、いずれも、ベトナムの将来にとって必要不可欠な取り組みであり、日本としても、ベトナム共産党・政府の改革努力にできるだけ協力したい考えです。

●実際、改革支援の観点から、日本は、党及び政府幹部の人材育成、電子政府構築、人事政策に関する知見提供等の協力を強化しています。

●9月26日、ベトナム政府の会議において、フック首相が、「電力や道路等の公共投資事業投資の遅延は、将来の経済成長のボトルネックになりうる、また、ドナーや投資家からの信頼の低下、経費増を招く」と指摘し、公共工事の実施促進を指示されました。ベトナムの発展にとって、非常に的確でかつ重要な指摘です。

●日本の場合、この2年間半近くの間、政策決定の遅延、工事代金支払いの著しい遅延、投資優遇措置の一方向的破棄、無償資金協力案件への法人税課税問題、技術協力プロジェクトで使用する機材の通関拒否など次々と発生する問題への対応に追われてきました。

●これら問題の多くは、幸いなことに、首相府のイニシアティブで解決、乃至、改善されてきました。しかしながら、次から次と新たな問題が発生したこと、そして、多くの場合、非常に残念なことに、関係当局からの説明が、必ずしも明確ではなかったことから、フック首相が指摘された通り、日本を含むドナーや投資家のベトナムへの信頼が低下したことは事実だと思えます。

●ベトナム経済は、2018年のGDP成長率が7.1%、今年2019年も7%前後の高い成長率が見込まれています。また、ベトナムは、IMFの協力を得て、GDPのより精緻な改定作業を進められており、年末にむけての正式公表が待たれます。

●更にビンググループやサングループ等ベトナムの民間企業の成長と事業の多角化は、ベトナム経済及び社会の発展のポテンシャルを高めています。

●外国の対越直接投資もこれまでのところ順調です。米中貿易戦争は、生産拠点の中国からベトナムへの移転を増加させていますが、今後、貿易・投資両面において、ベトナム経済

への影響が益々大きくなると考えられ、財政省の業務も更に増加するものと思います。

●日本の対ベトナム直接投資（認可）額は、昨年（2018年）、一昨年（2017年）と、国別・地域別で第1位でした。今年は、これまでのところ大型案件がなく、日本は、香港、韓国、シンガポールに続き第4位ですが、幸い日本企業の対越投資意欲は高く、特に、ベトナムの旺盛な内需を念頭に置いた投資は増加しています。また、大型投資案件の形成も進んでいます。

●ベトナム経済には、多くの前向きな要素があります。この機会に、財政省の皆様をお願いしたいことは、ベトナムが「現在の歴史的な好機」を生かして、持続的成長を達成できるよう、財政規律を維持しつつも、ドナーや投資家の信頼回復、電力の安定供給、交通インフラの早期整備等にも尽力いただきたいということです。

その為に、例えば、問題発生時の明確な対外説明、PPP案件に対する政府保証の付与、投資に対する安定的優遇措置維持、付与等をお願いしたいと思います。

●繰り返しになりますが、日本はベトナムが大きく成長し、国際社会から一層信頼される強靱な国になることを心から望んでおり、その為にベトナムとの連携を強化する意向です。

●最後に、ヴー・ティー・マイ財政省副大臣をはじめ、本対話開催のためにご尽力いただいた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、本日の会合が、財政省と日本との信頼感を高める契機になること、また、この会合が今後も継続されることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

(了)